

## 令和元年度 第2回 野洲市男女共同参画審議会 議事録要録

### ●日 時

令和2年2月17日（月）13:00～14:10

### ●場 所

野洲市役所本館3階 第2委員会室

### ●出席委員（委員区分毎・50音順）

1号委員：田中 ふじ江委員、馬淵 眞壽美委員

2号委員：岩井 和子委員、加賀爪 七夫委員、田中 利昭委員、富田 多恵子委員、  
中谷 征史委員

4号委員 橘 円委員

### ●欠席委員（委員区分毎・50音順）

2号委員：鈴木 あつ子委員、水上 恒宣委員、水口 栄寿委員

### ●野洲市男女共同参画推進本部

山仲本部長、西村副本部長、三上副本部長

### ●事務局

山本人権施策推進課長、藤池市民交流センター所長、  
山藤人権施策推進課主査、福家人権施策推進課主任

### ●傍聴者

なし

## 1. 開会

(1) 男女共同参画審議会会長あいさつ

(2) 男女共同参画推進本部長（市長）あいさつ

(3) 「第4次野洲市男女共同参画行動計画」策定にかかる諮問について  
男女共同参画推進本部長（市長）から馬淵会長へ諮問を行った。

## 2. 議題

(1) 「第4次野洲市男女共同参画行動計画」策定の考え方（案）について 資料1  
—事務局より資料説明—

(2) 「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果について 資料2  
—事務局より資料説明—

### ◇委員からの主な意見・質問

【委員】調査対象者の年齢別の配布数と回収率を教えてください。

→（事務局）手持ち資料がありませんので、後ほど回答する。

当日いただいた、ご質問の回答は下記のとおりである。

調査対象者の年齢別配布数及び回収率

	配布実数	回収実数	回収率
20歳代	121人	21人	17.4%
30歳代	155人	43人	27.7%
40歳代	184人	50人	27.2%
50歳代	154人	50人	32.5%
60歳代	153人	80人	52.3%
70歳以上	233人	109人	46.8%
不明	-	2人	-
合計	1,000人	355人	35.5%

【委員】 仕事を持ち、多く答えるのが面倒くさい人がある。聞かないといけない質問なら仕方ないが、もう少し設問数を絞れなかったのか。

【委員】 調査票を受け取った人は、この量に圧倒され記入に抵抗があったのではないか。60歳以上の回答率で半分以上占めてしまうので、高齢者の意見が主な結果になっているのではないか。年代をバランスよくできればよかった。行政では難しいが、お礼などが無いとお願いだけでは回答いただけない時代になったのかと思う。前回調査40.9%より回収率が落ちている。

【委員】 若い方の回答率を上げようと思うと、QRコードを活用してスマホで回答できると少しでも上がると思う。紙だとハードルが高く時間もかかるし、もっと回答しやすい方法を検討してほしい。

→（事務局） 審議会においても検討いただいたが、今回の意識調査は人権問題と男女共同参画を同時に実施したため、回答者には負担になった部分もあると考える。分析に最低限必要な設問を絞り込んだが、この量となってしまった。

目標回収率は40%だったが、若干少なくなった。次回調査は回答しやすい内容、項目数も含めて検討していきたい。

(3) 審議会等女性委員参画割合について 資料3

—事務局より資料説明—

◇委員からの主な意見・質問

【委員】 審議委員会に女性がもっと関わっていくために、募集の段階で女性何名、男性何名というかたちで募集されていないのか。

→（事務局） 毎年、審議会等女性委員参画調査を実施するにあたり、参画率が低い課へ、委員選考・交代時に女性委員の選出と、女性の多い審議会等については男性委員の選出をお願いしている。担当課も女性委員を増やす努力をしている状況である。法や条例等に定められている場合は性別に関わらず選出する必要があり困難な場合がある。

【委員】 自分が関わった所しか分からないが、たとえば、野洲市学校給食献立検討、物資

選定、子育て支援会議、食育選定委員会は、PTAに対して委員選出の依頼を受け、PTA連絡協議会や各幼小中の学校のPTA役員が順番で引き受けるという流れで委員を選出している。毎年順番だが、センターや関係機関からの委員選出依頼文書に、「女性の割合が多いのでできれば男性を」であるとか、逆の表現の一文がまったくない状態で、誰でも良いですよという形でくると、誰でも良いという受け取り方をする。そうすると、行きたい人、行ける人が選出され、欲しい人材が選出されない。本当に関係機関が男女の割合を何とかしたいのであれば、専門性を問われないような所でもっと動きようがあるのではないか。少しずつ小さなところから改善していけばいいと思う。

→（事務局）できれば男性を、女性をとという表記がなかったということですが、委員会の依頼文書の中には表記しているところもある。男性・女性のバランスをとるために、できればそういう一文を加え、こちらの意図が相手にしっかり伝わるかたちで文書を改めるよう再度依頼する。

【委員】女性が参加してほしいのであれば、それぞれの審議会委員を募集するにあたって、はっきりと女性何名・男性何名とか、なるべく女性の方参加してくださいと表立って書くのは、今の時代具合悪いのか。私は、字の協議委員をしている。自治会の役員は、男性でないとだめとは書かれていないが、自治会長、副自治会長、協議委員の全員が男性である。作業が身体的に大変であり、女性の選出は難しいという思いはある。

→（事務局）市民意識調査結果からも、地域における男女の役割に意識の差がみられ、我々も課題として認識している。今年度の男女共同参画セミナーでは、家庭・学校・自治会における、それぞれの分野で男女共同参画をどのように進めていくのかをテーマに実施した。女性の自治会長も非常に少なく、大きな課題と考える。女性の参画が進むよう啓発に取り組むとともに、委員の割合については各関係課を通じて積極的に考慮いただくようなかたちで進めたい。

### 3. その他

（事務局）次回審議会を7月頃予定しており、新年度になりましたら、具体的な日程調整をいたします。

### 4. 男女共同参画推進副本部長（教育長）あいさつ

### 5. 閉会